

高岡市都市計画マスタープラン（素案）概要版

1. 都市計画マスタープランとは

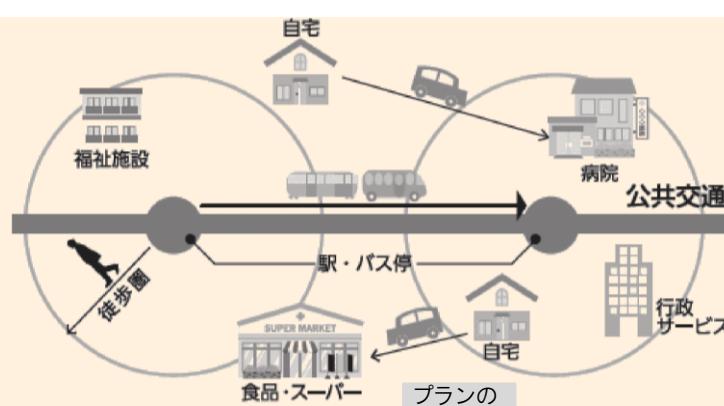
- 目的**
 - 旧市町の合併以降、人口減少や少子高齢社会の進展や、北陸新幹線の開業など本市を取り巻く情勢の変化への対応
 - 上位・関連計画で新たに掲げた方針（将来像）を具体化
 - 「土地利用」や「都市施設（道路、公園など）」などの都市計画に関する都市づくりの方針を定める
- 位置付け**
 - 市総合計画や県区域マスタープランの上位計画に即する
 - 公共交通や中心市街地活性化などの関連計画と連携
- 目標年次：平成47年（2035年）**
- 対象区域：都市計画区域外（福岡町五位山）も含む高岡市全域**

2. 将来像

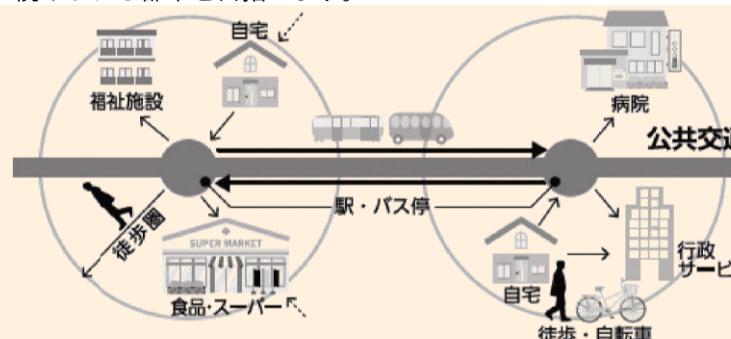
- 目指す将来像** 豊かな自然と歴史・文化につつまれ
人と人との繋がる 市民創造都市 高岡
- 将来都市構造** コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくり
【コンパクト・アンド・ネットワークとは】

現在のまち（背景・課題）

- 高度経済成長期に生産年齢人口の拡大に対応してきた自動車を中心のまちづくりのまま市街地を拡げると、道路や下水道などのインフラの維持費が増加するほか、公共交通などの維持も困難になります。
- 高齢化が進む中、自動車がなければ生活しにくい都市になります。

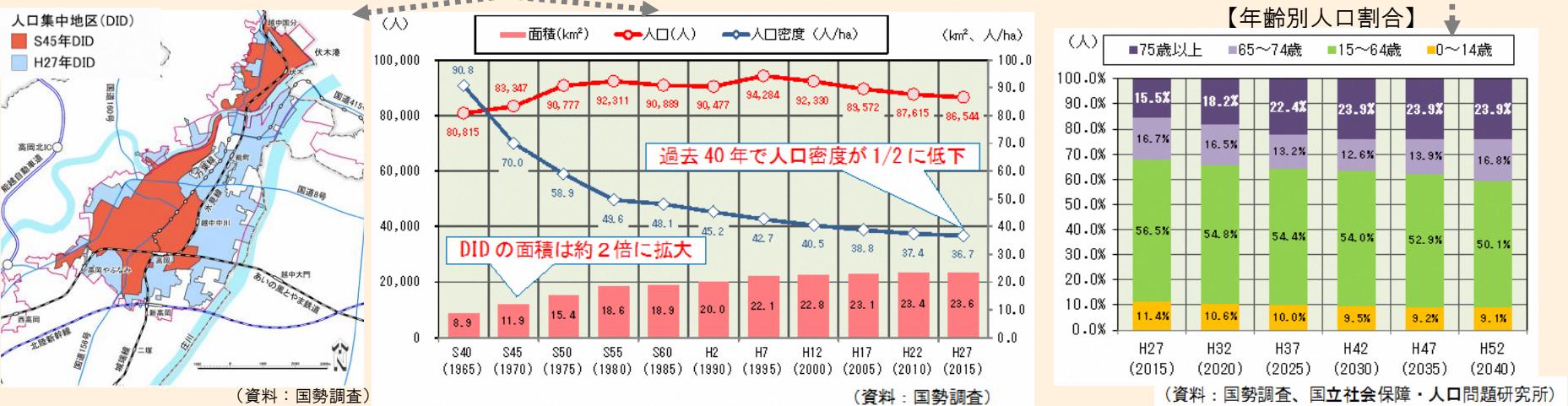


- 自動車の利用を中心とした郊外でのゆとりある生活を尊重しつつも、徒歩や公共交通を利用できるライフスタイルを提案します。
- 駅など公共交通でアクセスが可能な拠点周辺に居住や都市機能を集め、自動車から公共交通への転換を図ることで、持続可能で安心して暮らし続けられる都市を目指します。



3. 現況と課題

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ■急激な人口の減少
H27年 → H47年
17.2万人 14.7万人
2.5万人(約15%)減少 | ■市街地の低密度化
薄く広く拡がった市街地
「人口密度」の減少が市民生活に大きく影響 | ■空き家率の上昇
H15 13% → H25 15%
・将来的に30%超の予想
・流通していない空き家の割合はますます増大 | ■高齢者割合の増加
H27 32.2% → H47 37.8%
・将来的に40%超の予想
・高齢者や子供など車を所有しない方の移動が困難になる恐れ |
|---|---|---|---|



4. 全体構想【都市づくりの基本方針、都市整備方針】

…市全体を見渡し、6つの都市づくりの基本方針ごとに都市整備方針を掲げ施策を展開します。

- 人口減少・少子高齢社会の中で持続的に発展する都市づくり**

 - 既存ストックを利活用したコンパクトな都市づくりの推進
 - 充実した既存ストック（公共施設、インフラ）の有効活用
 - 土地の有効利用や高度利用の促進
 - 低未利用地や空き地・空き家の有効活用
 - 既成市街地のインフラの計画的な維持更新
 - 新規整備から計画的な維持更新へのシフト
 - 公共施設の計画的な再編と有効活用
 - 民間活力も導入した公共施設の計画的な再編と有効活用
- 「ものづくり」を中心に活気ある産業を育む都市づくり**

 - 県西部の都市活力を牽引する産業の集積と育成
 - 新規企業の誘致、未分譲地や空き工場への立地支援
 - 広域交通基盤を活かした産業基盤の整備
 - 企業団地の造成、企業ニーズを踏まえた周辺環境の整備
 - 身近な生活圏における多様な働く場の確保
 - まちなか居住など中心市街地活性化と連携した働く場の確保
 - 地域の商店街の活性化、空き店舗の活用
 - 観光地と商店街を結ぶ回遊性の向上
 - 空き店舗活用に対する支援
- 歴史・文化と自然を活かした都市づくり**

 - 歴史まちづくりの推進
 - 歴史・文化資産の保存・活用、歴史的な町並みの誘導
 - 歩いて楽しいまちづくり（ストリート構想）の推進
 - 文化創造都市の推進
 - 高岡の文化に触れる機会の充実、創造の場の創出
 - 都市計画公園等の整備
 - 必要性を踏まえた都市計画公園等の整備・見直し
 - 身近な緑を活かした緑豊かな都市づくりの推進
 - 身近な自然環境や農地（都市内農地含む）の保全・活用
- 中心市街地と周辺市街地が連携して躍動する都市づくり**

 - 中心市街地を含む都心エリアにおける高次都市機能の集積
 - 県西部の中心的役割を担う高岡駅と新高岡駅の相乗的利活用
 - 周辺市街地における身近な生活サービス機能の集積
 - 都心エリアとの連携を図りつつ地域生活圏を形成
 - 徒歩と公共交通で暮らせる都市構造への転換
 - 徒歩や公共交通を利用するライフスタイルへのシフト
 - 市街地縁辺部や集落地における生活利便性の維持
 - 身近な地域における生活利便性の維持
 - 市街地を取り巻く優良農地や自然環境の保全・活用
 - 原則、市街地はこれ以上拡大せずに農地や自然と共に存
- 広域間と拠点間の交通ネットワークが充実した都市づくり**

 - 大都市圏に連絡する広域連携ネットワークの強化・充実
 - 新幹線や高規格幹線道路等の整備促進による交流や連携の拡大
 - 拠点間連携の骨格を担う道路ネットワークの形成
 - 環状放射道路の整備促進と戦略的道路の具体化
 - 必要性を踏まえた都市計画道路の見直し
 - 都心・都市交通軸の充実・強化
 - 市内を円滑に移動できる交通体系の構築
 - 地域特性に応じた公共交通サービスの充実
 - 公共交通不便地域の改善に向けた取り組みに対する支援
- 安全・安心で快適に暮らせる都市づくり**

 - 災害リスクを考慮した安全・安心な都市づくり
 - 防災意識の向上など地域防災力の強化
 - 災害リスクを踏まえた土地利用の誘導
 - 日常生活における安全と安心の確保
 - 防犯・交通安全対策の推進
 - 歩行者・自転車など安全で快適な空間整備
 - 環境と共生した快適な都市づくり
 - 低炭素・循環型社会など環境の共生まちづくりの推進
 - 恵まれた自然景観の保全、魅力的な都市景観の誘導

4. 全体構想 … 【将来都市構造】

「コンパクト・アンド・ネットワーク」のまちづくりの考え方に基づき、都市機能等の集約を目指す「拠点」、都市や拠点間を結ぶ「連携軸」を設定するほか、土地利用の大きな区分を示す「骨格的エリア」の区分を行います。

【将来都市構造図】



【拠点の設定】

広域都市拠点

…県西部の中核都市にふさわしい高次都市機能の集積を図る拠点
都心エリア（新高岡駅～高岡駅～中心市街地）

地域生活拠点

…身近な生活サービス機能の集積を図る拠点
周辺市街地エリア（伏木、戸出、中田、牧野、立野、福岡）内の中心となる駅等の周辺

産業拠点

…産業の集積を図る拠点

広域交通結節点

…大都市圏等との連携を図るための高速交通網の結節点（IC、新高岡駅）

【連携軸の設定】

広域交流軸

…大都市圏等との連携を図るための高速交通網

都市間連携軸

…近隣都市との連携を図るための鉄軌道、道路

拠点間連携軸

…広域都市拠点と地域生活拠点との連携を図るために鉄軌道、道路

都心軸

…中心市街地と高岡駅や新高岡駅との連携を強化するための鉄軌道、道路

【骨格的エリア区分】

都心エリア

…県西部地域の中核的都市としてふさわしい、にぎわいと魅力ある空間の創出を図るエリア

市街地エリア

…住居、商業、工業等の都市的土地区画整理事業を計画的に行うエリア

田園環境エリア

…無秩序な開発の抑制とともに田園環境の保全を図るエリア

自然環境エリア

…良好な自然環境の保全を図るエリア

【道路整備方針図】

本市の市街地の骨格を形成し、市内外の円滑な移動を確保するための道路の配置及び整備の考え方を示します。

今後、この道路整備方針図を踏まえつつ、道路整備を検討、推進します。

● 広域交通ネットワーク

高規格幹線道路

● 地域高規格道路

● 骨格道路ネットワーク

主要幹線道路

● その他の幹線道路

幹線道路

● 戰略的道路

戦略的道路

アクセス強化を図る拠点間は以下の通り。

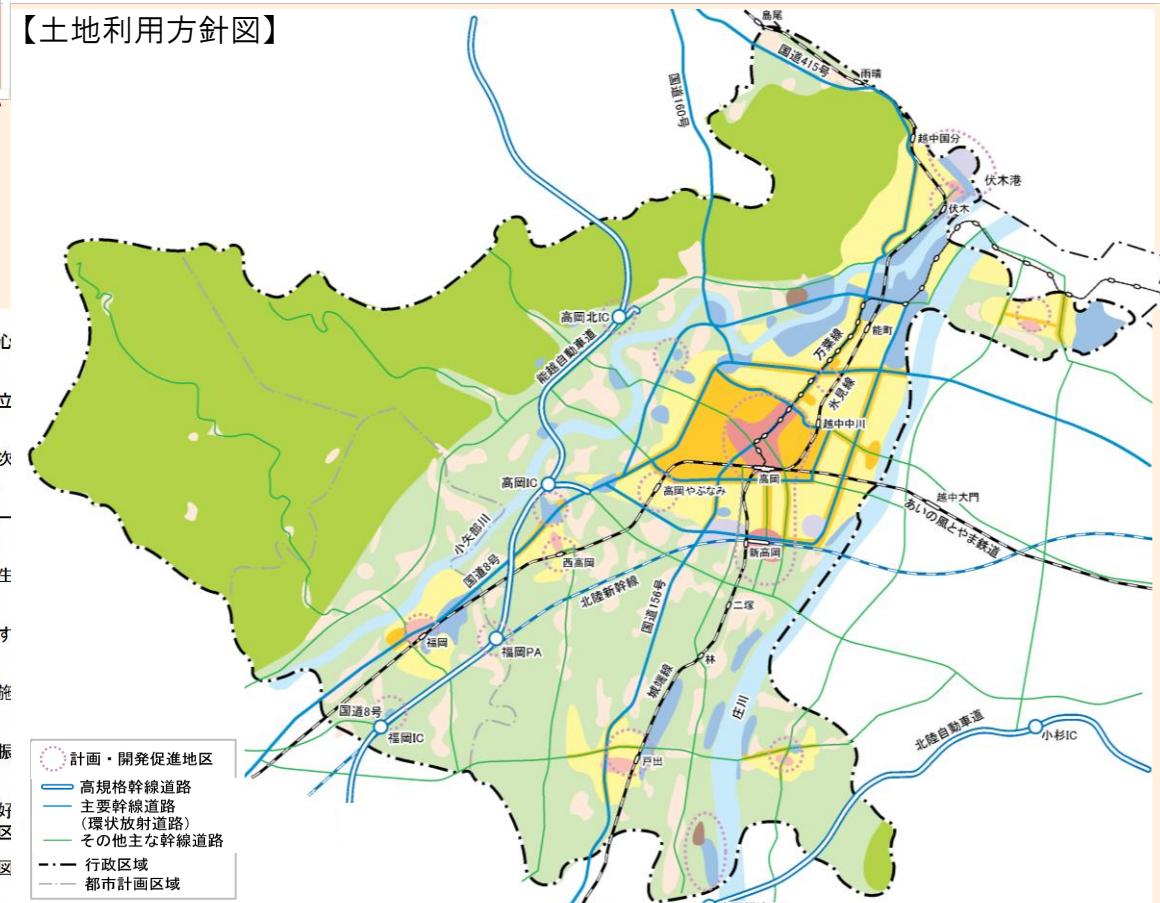
- ①高岡北 IC～高岡駅
- ②高岡北 IC～伏木外港
- ③高岡駅～新高岡駅
- ④高岡 IC～新高岡駅～高岡北部
- ⑤福岡地区～国道156号～新高岡駅

※図に示す戦略的道路①、②、⑤は、各拠点間のアクセス強化を図るイメージであり、ルートを示すものではありません。

※破線部は、暫定供用中・未整備区間であり、現在整備中もしくは今後整備を予定するものです。

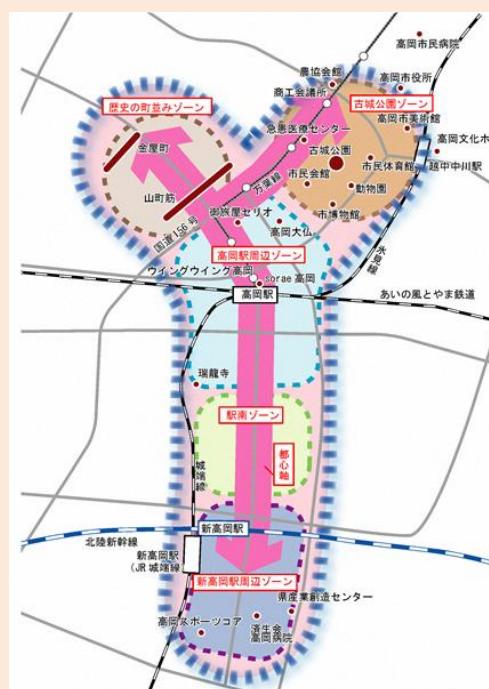


【土地利用方針図】



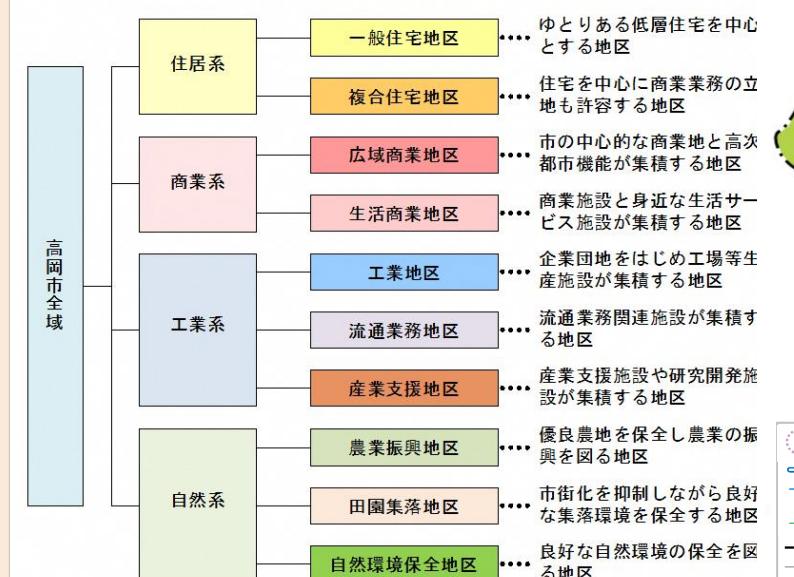
【都心エリア】

歴史的な経緯や都市機能集積等の特性に応じて5つのゾーンを設定します。



【土地利用の区分】

将来都市構造のエリア区分を基本に、将来目指すべき土地利用の方向性を示します。今後、この土地利用方針を踏まえつつ、土地利用計画（用途地域等）の見直しを検討します。



5. 地域別構想 … 【まちづくりのテーマ、方針】

コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくりを推進するため、全体構想で掲げた拠点の配置、及び学校区、地形・土地利用、幹線道路や公共交通などの地域の繋がりも踏まえ、地域区分を次の5区分で設定します。

その上で、地域ごとに、地域特性を踏まえた「まちづくりのテーマ」と、全体構想で掲げた都市づくりの基本方針に応じた「まちづくり方針」、「コンパクト・アンド・ネットワークの方針」を具体的にお示しします。

北部地域
小矢部川、富山湾、二上山に囲まれた地域で、JR 氷見線、国道 415 号を骨格に伏木駅を中心とした市街地が形成された地域

中部地域
庄川の扇状地に広がる地域であり、中心市街地から高岡駅・新高岡駅の都心エリアを中心に鉄軌道や幹線道路などの交通ネットワークで結ばれた牧野・立野地区を含む地域

北西部地域
小矢部川左岸の田園地帯と西山丘陵地など自然豊かな地域であり、国道 160 号や県道小矢部伏木港線などを骨格に周辺地域と連携する地域

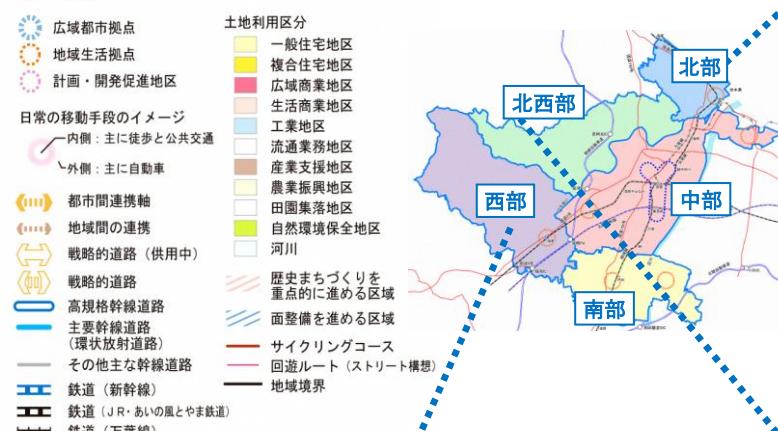
西部地域
福岡駅を中心に田園地帯から中山間地にかけて広がる旧福岡町の生活圏であり、あいの風とやま鉄道、国道 8 号を骨格に市街地が形成されている地域

南部地域
散居村の形態を残す田園地帯に広がる地域であり、戸出・中田地区を中心に市街地が形成され、JR 城端線、国道 156 号や東西の県道を骨格に周辺と連携する地域

都市づくりの基本方針

- (1) 人口減少・少子高齢社会の中で持続的に発展する都市づくり
- (2) 中心市街地と周辺市街地が連携して躍動する都市づくり
- (3) 「ものづくり」を中心に活気ある産業を育む都市づくり
- (4) 広域間と地域間の交通ネットワークが充実した都市づくり
- (5) 歴史・文化と自然を活かした都市づくり
- (6) 安全・安心で快適に暮らせる都市づくり

【凡例】



北部地域

万葉から続く歴史・文化を活かした個性豊かなまちづくり

越中国府から勝興寺と寺内町、みなと町等の歴史・文化を活かし、地域の回遊性を高め、多くの観光客など人を引きつける個性豊かなまちづくりを進めます

海と山など豊かな自然を身近に感じるまちづくり

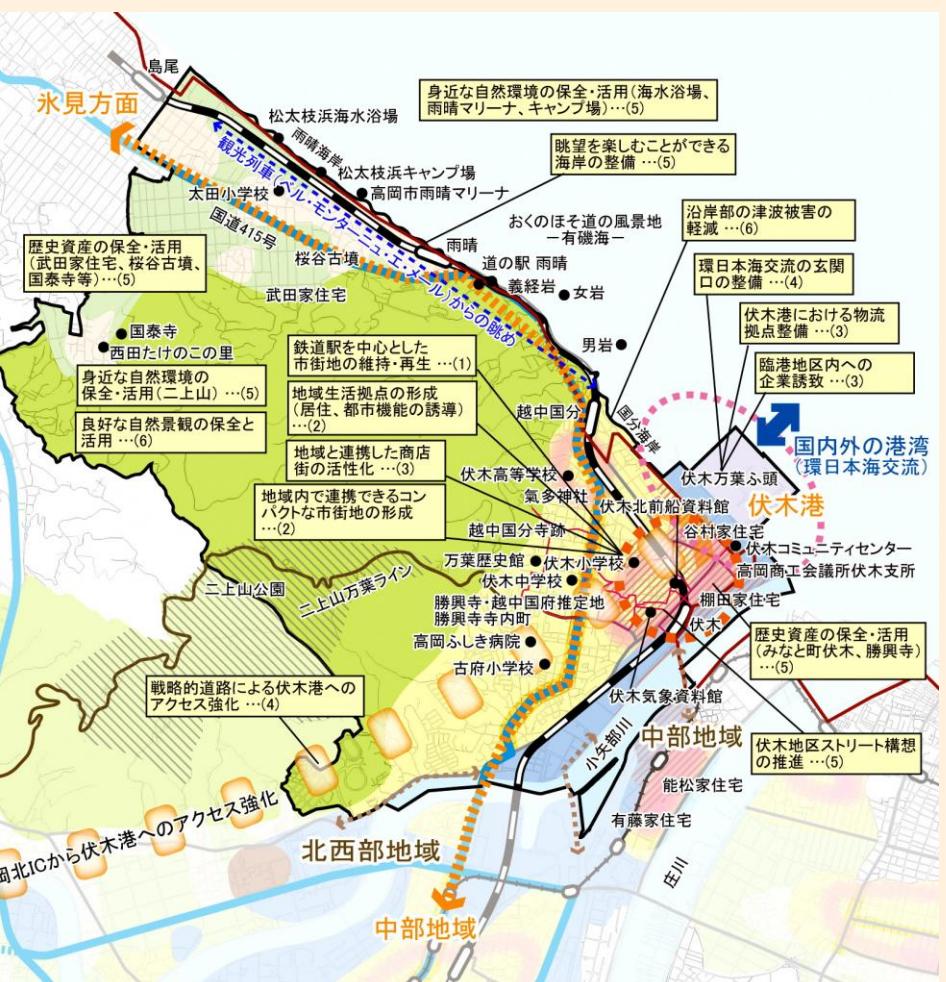
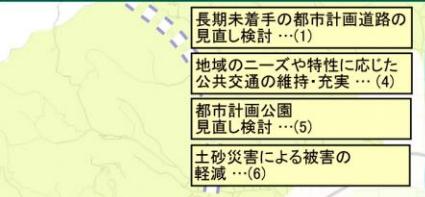
優れた自然景観を有する雨晴海岸や二上山などの豊かな自然を身近に感じ、道の駅、サイクリングコースや観光列車などを活かした地域の振興を図ります

環日本海交流の玄関口を活かしたまちづくり

国際交流や物流の拠点となる伏木港の整備・利活用の促進と、地域の活性化へ向けたクルーズ船等の誘致や環境整備を進めます

コンパクト・アンド・ネットワークの方針

- ・JR 氷見線で広域都市拠点と接続する伏木駅周辺に地域生活拠点を形成し、日常生活に必要な都市機能を誘導します。
- ・JR 氷見線伏木駅及び越中国分駅を中心に居住を誘導します。



西部地域

旧北陸道沿いの菅笠の集散地として発展した歴史と文化を継承するまちづくり

菅の生産や菅笠づくりや養鶏業などの独自の歴史や文化を活かして、地域への愛着や誇りを醸成し、観光客など人を引き付けるまちづくりを進めます

駅前を中心に都市機能がコンパクトにまとまったまちづくり

路線バスや公営バスの結節点であり、商業、医療、交流など生活サービス機能が集積している駅前を中心に利便性の高いコンパクトなまちづくりを進めます

都市と自然との交流から山村地域の活力を生み出すまちづくり

農業・林業などの産業振興や、交流施設を活かした都市と山村地域との交流人口の増加により、山村地域の活力を維持する取組を進めます

コンパクト・アンド・ネットワークの方針

- ・あいの風とやま鉄道で広域都市拠点と接続する福岡駅前周辺に地域生活拠点を形成し日常生活に必要な都市機能を誘導します。
- ・あいの風とやま鉄道福岡駅前を中心に居住を誘導します。

北西部地域

産業集積から都市の活力を生み出すまちづくり

能越自動車道のICの周辺などものづくり産業と産業支援機能の集積から新たな雇用の場を生み出し、都市活力を牽引するまちづくりを進めます

丘陵地や田園などの自然環境と調和したまちづくり

二上山や西山丘陵地や農地が広がる豊かな自然環境の中で、ゆとりあるライフスタイルを提供するまちづくりを進めます

周辺地域との連携による安心して暮らせるまちづくり

道路や公共交通の交通ネットワークにより周辺地域の拠点と連携することで、安心して暮らせるまちづくりを推進します

コンパクト・アンド・ネットワークの方針

- ・公共交通を活用した広域都市拠点や地域生活拠点との連携により、日常生活に必要なサービスを利用できる環境を確保します。



5. 地域別構想 … 【まちづくりの方針、テーマ】

中部地域

県西部の中核都市にふさわしい機能と魅力のあるまちづくり

市全体の中心として、さらに県西部の中核都市として、都市活力を牽引する高次都市機能の集積と併せて、都市の求心力につながる魅力の向上に取り組みます。

交通ネットワークを活かした多くの人々でにぎわうまちづくり

充実した交通ネットワークを活かして、周辺地域や近隣都市と連携しながら、市内外から多くの人々が感じる賑わいのあるまちづくりを進めます。

加賀前田家ゆかりの町民文化を感じられるまちづくり

町民主体の商工業の町として発展した歴史と文化を継承し、高岡らしい風情や情緒と都市の賑わいを感じながら、徒歩や公共交通を利用することで暮らしの環境づくりを進めます。

長期未着手の都市計画道路の見直し検討 …(1)
地域規格道路や戦略的道路の整備促進 …(4)
都市計画公園・緑地の見直し検討 …(5)
市街地内農地の保全・活用 …(5)
景観や眺望に配慮した建築物の規制誘導 …(6)



南部地域

高速交通網を活かした産業集積から都市の活力を生み出すまちづくり

高速交通網による優位性を活かし、伝統産業や近代産業に加え新たな産業を創造し、魅力的な働く場の拡大による活力あるまちづくりを推進します。

散居村の田園環境と共生するまちづくり

水と緑に囲まれ文化的な景観を形成している散居村の集落やホテルが生息する豊かな水資源を保全し、独自の美しい田園景観と調和するまちづくりを進めます。

多様な産業や豊かな自然と良好な住環境が調和したまちづくり

生活サービス施設が充実した住環境を活かし、生活サービス機能の集約・維持や交通アクセスの充実を図り、産業と自然、暮らしが調和したまちづくりを進めます。



都心エリア 【まちづくりのテーマ】

- 将来にわたり多様な世代が居住する都心づくり
- 多くの都市機能がコンパクトに集積した都心づくり
- 広域的な交流・連携の中心となる都心づくり
- 高岡の歴史・文化を継承する都心づくり

歴史の町並みゾーン

「住む人」の安全・安心を育み、「来る人」が高岡らしい歴史・文化を感じられるまちづくり
➤歴史・文化を活かした交流・観光の拠点となるゾーン

古城公園ゾーン

「住む人」が潤いある便利な生活を育み、「来る人」がまちなかの自然や歴史を堪能できるまちづくり
➤文化、交流や商業業務機能を中心とした高次都市機能を集約するゾーン

高岡駅周辺ゾーン

中核都市としての都市機能の集積を図り、「住む人」と「来る人」の活動を支えるまちづくり
➤交流・観光や商業業務機能を中心とした多様な高次都市機能を集約するゾーン

駅南ゾーン

利便性が高く良好な居住環境の中で多様なライフスタイルを実現できるまちづくり
➤沿道サービスや業務機能と調和した良好な居住環境の形成を図るゾーン

新高岡駅周辺ゾーン

「来る人」を温かくもてなすまちづくり
➤交流・観光機能を中心とした高次都市機能の誘導を図るゾーン



6. 実現化方策

コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくりの実現へ向けて次のとおり取り組みます。

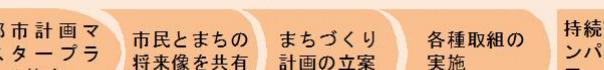
■ 基本的な考え方と実現化までの流れ

実現化を進める上の基本的な考え方

- | | | | |
|-------------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 市民と行政の共創のまちづくり | ② 推進体制の充実 | ③ 計画的な進行管理と計画の見直し | ④ 効率的・効果的なまちづくり実践 |
|-------------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|

各段階に反映

計画策定から実現化までの流れ



1. 市民と行政の共創のまちづくり

- ・まちづくりの情報発信と啓発
- ・市民が主役のまちづくりの推進、支援
- ・人材の育成・ネットワーク化

【個人】

- まちづくりへの提案、活動への参加等
- 【地域・団体】
- 話合による場づくり、地域のルール作り等

【企業】

- 専門性を活かした、まちの課題へのビジネスでの取組
- 地域貢献型企業活動への取組等
- 【大学】
- 新しいまちづくり手法の研究
- まちづくりに対する評議への提案
- 学生のまちづくり参画機会の増進等

市民(地域・団体)

- まちづくりの主役として、まちを見つめ、地域の人々とともにより良いまちの姿について考え、その実現のために必要な活動を積極的に実行します。

事業者(企業・大学)

- 各種の事業分野において、企業活動や、その専門性・経験・ネットワークを活かした地域貢献を展開します。

行政

- 意識の啓発・反映
- 都市づくり(ビジョン・手法の提案)
- 活動への技術的・経営的支援
- 人づくり・組織作り等

2. 推進体制の充実

- ・府内体制の推進体制の充実
- ・関係機関や近接市との調整・協力体制づくり
- ・各種団体等との連携

3. 計画的な進行管理と計画の見直し

- ・計画はPDCAサイクルにより概ね5年で見直し
- ・各種事業・施策は毎年進捗管理、不斷に見直し

【Plan(計画)】

- ・都市計画マスター プランの策定
- ・社会情勢にあわせた都市計画マスター プランの見直し

策定懇話会等

【Action(評価)】

- ・都市計画の決定・変更の審議
- ・まちづくりの評価

都市計画審議会

【Check(点検)】

- ・都市計画基礎調査の実施
- ・進捗の点検、成果の把握

行政

- ・計画的な事業の実施
- ・条例等の有効活用
- ・民間活力の有効活用
- ・新たなまちづくり手法の導入など

4. 効率的・効果的なまちづくりの実践

各種事業・施策の実施にあたり以下の手法(視点)で、より効率的・効果的なまちづくりを実践

- ・計画的な事業の実施
- ・条例等の有効活用
- ・民間活力の有効活用
- ・新たなまちづくり手法の導入など